

| | | | |
|-----|---------|---------------|--------|
| 事業名 | 社会教育振興費 | 財務コード (事業) | 159304 |
|-----|---------|---------------|--------|

| | |
|------|-------------------|
| 細事業名 | 社会教育関係団体活性化事業費補助金 |
|------|-------------------|

| | | |
|-------|---------------------------------|------|
| 担当部課室 | 教育委員会 部 社会教育 課 社会教育振興担当 担当 (内線) | 8354 |
|-------|---------------------------------|------|

I 事業の概要

| | | | |
|----------------------|---|---|-------------------------------|
| 実施期間 | 始期 H17 年度 ~ 終期 年度 | | |
| 実施主体 | 補助(山梨県社会教育振興会) | | |
| 事業の目的 | 誰(何)を対象に 地域の教育力を高めることを目的として活動している社会教育関係団体及びその関係者 | その対象をどのような状態にして 各種の社会教育関係団体が事業を通じて連携・協力・交流等を図ることにより、団体活動の活性化を進め地域の教育力を高められている。 | 結果、何に結びつけるのか 生涯を通じて学ぶ環境づくり |
| | <p>○社会教育振興フォーラム 社会教育関係団体の関係者が一堂に会し、討論、情報交換を行うことにより、地域の教育力の向上を図る。 平成23年11月5日実施。内容:アトラクション、シンポジウム、各団体の活動内容等についての展示。</p> <p>○体験交流事業 社会教育関係団体の人材、地域の資源、施設を活用し、体験活動を実施し、地域に根ざした社会教育の振興を図る。 平成23年度 中北地区 「親子しめ飾りづくり教室」、「楽しく集う花びらアートづくり」、「平和の鐘を鳴らそう」 峡東地区 「親子しめ飾りづくり教室」 峡南地区 「親子陶芸教室」、「カヌー体験教室」 富士東部地区 「親子ふれあいクリスマス寄せ植え教室」 ※平成24年度は8事業を予定</p> <p>○社会教育関係団体指導者養成事業 社会教育関係団体指導者の資質向上を図るため研修会を実施する。 ・生涯学習フォーラム 講演及びパネルディスカッション ・事例発表 社会教育関係団体による実践事例発表 ・指導者研修会 県PTA協議会と共催による、講演会</p> | | |
| 事業の内容 ※主に 23年度 | | | |
| 根拠法令等 | 社会教育法 | | |

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

| 事業の実施状況と 目標の実現度 | 22年度 | 23年度 | | 24年度 | 25年度 | 事業目標の考え方 | |
|--------------------------------|-------------------------------|------|--------|--------|--------|----------|---|
| | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 見込値 | 目標値 | | |
| 活動指標 | 社会教育振興フォーラム参加者数 | 115 | 115 | 105 | 115 | 115 | 目標設定の考え方 前年度実績による |
| | 体験交流事業参加者数 | 474 | 470 | 560 | 450 | 450 | データの出典等 前年度実績による |
| | 指導者養成事業参加者数 | 296 | 290 | 291 | 290 | 290 | |
| | 活動指標達成率 (実績値/目標値) | | | | | | |
| 成果指標 | 社会教育指導者養成研修会に参加してよかったと答えた人の割合 | 78% | 75% | 74% | 75% | 75% | 目標設定の考え方 例年の実績から |
| | 成果指標達成率 (実績値/目標値) | | | 98.0 % | | | データの出典等 アンケート |
| | 決算額、予算額 (千円) うち一財額 | 753 | | 755 | 800 | 800 | 成果指標によらない成果 フォーラム、研修会でのシンポジウム、実践事例の発表等により、参加者の見識が深まり、社会教育関係団体指導者の資質向上を図ることができている。社会教育関係団体の活動を通して、地域に根ざした社会教育の振興に結びついている。 |
| 所要時間(直接分) | 208 時間 | | 210 時間 | 208 時間 | 208 時間 | | |
| 所要時間(間接分) | 0 時間 | | 0 時間 | 0 時間 | 0 時間 | | |
| 所要時間計 | 208 時間 | | 210 時間 | 208 時間 | 208 時間 | | |
| 人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間) | 420 | | 424 | 420 | 420 | | |

III これまでの事業の見直し・改善状況

S58~H16、山梨県社会教育振興会補助金として、振興会に加盟している団体に補助金を交付していたが、零細補助金にあたるためH16のアセスで廃止とした。H17以降、甲府地区で実施されていた体験交流事業を県内全域で実施し、開催回数や内容の充実に努めている。

IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

| | | |
|--|----------------|---|
| (1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断) | | |
| 数値判定 H23年度 活動指標 達成率 | 活動量に係る 一次評価 | 活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること 社会教育振興フォーラムの参加者数は目標を若干下回ったが、体験交流事業の参加者数は約2割増加し、指導者養成研修会の参加者数は目標どおり確保されているので、総合的には予定どおりの活動量を上げている。 |
| | b | |

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

| | | |
|---|---------------|---|
| (2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断) | | |
| 数値判定 H23年度 成果指標 達成率 | 成果に係る 一次評価 | 成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること 社会教育振興フォーラムや指導者研修会に社会教育関係団体の構成員が参加し、社会教育振興会加盟団体相互の情報交換等により連携を深め、指導者としての資質向上が図られている。 また、それにより、それぞれの団体が行う独自の事業や振興会として各団体がおこなう体験交流事業を通して、地域に根ざした社会教育の振興を図ることができたので、意図した成果はほぼ上げている。 成果指標のアンケート結果から、研修会に参加してよかったと回答した人の割合が98%となっており、意図した成果はほぼ挙げている。 |
| b | b | |

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

| 一次評価(担当部評価結果) | | |
|---------------|----|-----------|
| 見直しの必要性 | 説明 | IV以外の判断項目 |
| 無 | | |

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

| 二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価 | | |
|--|----|-----------|
| 見直しの必要性 | 説明 | IV以外の判断項目 |
| | | |

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

| 見直しの方向 | 具体的な実施計画等 |
|--------|-----------|
| 現行どおり | |

見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。